



# あさり

～夢と自信と地域への思いを育む学校を目指して～

- 進んでかかわり  
共に高め合う子
- 自ら学ぶ子
- 思いやる子
- たくましい子

小樽市立朝里小学校  
令和5年度  
学校便り

第10号  
2023.12.25 発行

## 【ひとみ きらきら自分事として考え 進んで行動する 朝里の子】と共に

教頭 金井 建憲

年度で一番長い2学期が、今日で終わりました。明日からは、冬休み。子ども達が大好きな年中行事が続きます。クリスマス、大晦日、初詣、お年玉、スキー等々。どれも、子ども達が瞳をキラキラさせながら楽しむ姿が目に見えます。クリスマスからお正月までのワクワク感。今も昔も変わりませんよね。

学校生活でも、2学期たくさん子ども達の「ひとみきらきら」を見ることができました。特に私が印象的だったのは、学習発表会です。保護者の皆さんに自分たちの最高の姿を見せようと主体的に一生懸命練習し、短い練習期間であってもベストパフォーマンスを見せてくれました。中でも、6年生は自分たちで内容を考え、演出を工夫し、朝里の子の姿としての手本を後輩たちに見せてくれました。さすが、最高学年。

実は、そういった自分事で進んで頑張る姿が、行事だけではなく普段の日常でも見られるようになってきました。児童玄関から「おはようございます。」と挨拶をして入ってくる子、休み時間に廊下ですれ違う子、体育館で遊んで帰ってきた子など、みんな瞳を輝かせながら楽しそうに過ごしています。もっとも驚いたのは、授業中の「ひとみ きらきら」です。

私は5年生の算数科の指導に関わっていますが、「算数が苦手」と思う子が本校でも多く見られます。そんな子の目は、いつも曇っています。いつも「算数好きを増やしたい」そう思って指導してきました。昨日の授業時間、いつもウトウトして瞳が締まりそうになっている子が、目を大きく見開いて話を聞きながら聞き、自分の考えを発表することができていました。思わず、嬉しくなって授業中に何回もあててしまいました。成長を感じます。きっと他の教科でも、自分事で頑張っているからですね。

いじめも無く、のびのびと楽しく過ごし、全校児童が「ひとみきらきら」できるように、来年も職員一同力を合わせて頑張っていきます。



## サンタさんから、スマートフォン

先日、知り合いから「サンタさんのプレゼントにスマートフォン」という話を聞きました。現代のサンタさんは、いろいろなプレゼントを用意しないといけないので大変ですね。

私自身、「小学生のうちはスマートフォンは必要ないのでは」と考える一人です。ですが、時代ですよ。毎朝、60台近くのスマートフォンが職員室前のかごに預けられます。理由があつて、家庭から学校へ持って行かせることへの申請書を提出した児童のものです。

昨今、全国的にも児童のスマホ依存症や SNS 上のトラブルが問題視されています。その中でも、SNS 等を通じたいじめやトラブルについては、本校でも課題と言えます。トラブルがあつた時、「自分の責任で使用させている」「使っているのは本人だから責任は本人」と保護者が話していると聞くことがありますが、契約するのは保護者であり、持たせているのも保護者なのです。結果、トラブルの責任は保護者がとることとなります。

新年をまもなく迎えるこの時期に、今一度、「スマートフォンの家庭での約束」を確認してください。あわせて、スクリーンタイム的にも長時間の使用は望ましくないことをお子さんと確認をお願いします。

本校に届いた「STOP SNS TROUBLE ポータルサイト(北海道教育委員会 生徒指導・学校安全課 HP)」の URL と QR コードを紹介します。これから持たせる予定の皆さんも参考にしてください。

☆北海道教育委員会 生徒指導・学校安全課 HP「STOP SNS Trouble ポータルサイト」

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/165453.html>

